

SawamotoDentalOfficeNews

2016年8月号

厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
まだしばらくは残暑が続きます。どうぞお身体には十分お気を付け下さい。
今月のSawamoto Dental Office Newsは「酸蝕歯の治療法」について特集してまいります。



●どんな治療法がある？

〈コンポジットレジン充填〉

象牙質が露出してしまった歯は、歯の内部に細菌が入り込みやすく、むし歯のリスクが高まります。
そこで、必要に応じて露出した箇所をコンポジットレジンで覆って治療します。
レジンを用いることで細菌の侵入を防ぎ、歯質も丈夫になります。

治療前



美容のために毎日レモンを食べていた患者さんです。
酸蝕で軟らかくなった歯に、歯ぎしりが加わり象牙質が露出してしまいました。

治療後



象牙質を接着性レジンで覆ってから、欠けた部分をコンポジットレジンで修復しました。

〈ラミネートベニア〉

摩耗や酸により歯の侵蝕が進行したケースでは...

歯の表面をわずかに削り、セラミックス製の薄いシェルを歯にはり付ける方法や、コンポジットレジンをはり付ける方法があります。

治療前



治療後



炎症が起きている

上の歯があたる部分がえぐれ、そこから細菌が入って歯根に炎症が起きています。
こうなると、レジンで覆う治療はできません。
神経を取る治療が必要になります。

レジンを使った小さな治療で細菌の侵入をストップ！
歯の神経を取ってしまうと歯の寿命が短くなってしまいます...
神経を取る治療が必要になる前に、これからは酸蝕のリスクを減らしてエナメル質を大切にしましょう。

